

2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 タケダ機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6150 URL <https://www.takeda-mc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹田 雄一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 修平 (TEL) (0761) 58-8231
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績(2022年6月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	2,110	1.3	176	47.6	197	38.1	160	77.1
2022年5月期第2四半期	2,083	35.7	119	500.7	142	114.7	90	91.6

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 164百万円 (82.6%) 2022年5月期第2四半期 89百万円 (76.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	174.84	—
2022年5月期第2四半期	98.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	6,770	4,436	65.5
2022年5月期	6,739	4,318	64.1

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 4,436百万円 2022年5月期 4,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年5月期	—	0.00	—	—	—
2023年5月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年5月期の連結業績予想(2022年6月1日~2023年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	4,800	8.0	330	△11.6	330	△19.3	245	△6.1	266.42	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年5月期2Q	1,020,000株	2022年5月期	1,020,000株
2023年5月期2Q	100,393株	2022年5月期	100,393株
2023年5月期2Q	919,607株	2022年5月期2Q	919,659株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の収縮から再開に向けて段階的な回復基調で推移しているものの、ウクライナ問題の地政学的リスクの影響、半導体部品の不足による生産活動の停滞、多岐にわたる急速な物価の上昇、グローバルな金融政策の引き締め、外国為替相場の急速な変動など景気に対する様々な悪影響が顕在化しており、先行きが不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは「お客様視点のものづくり」を基本原点に、新製品開発の促進、提案営業の展開、保守サービスの充実、付加価値の改善等に取り組んでおりますが、鋼材価格の高騰による収益の縮小や製造部品の不足から製造納期の長期化が常態化するなど、予断を許さない事業環境が継続しております。これらに対して収益を改善しようと、製造部品の先行手配や内製化、在庫の適正化、販売価格の見直しなどを展開しておりますが、回復までに一定の時間を要しております。

このほか、当社は太陽光発電設備の導入(2022年10月28日稼働)を決定し、社会が求める自然環境への対応と企業活動の共存を図り、持続可能な成長を可能とする企業活動にも取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は2,110百万円(前年同期比1.3%増)、営業利益は176百万円(前年同期比47.6%増)、経常利益は197百万円(前年同期比38.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は160百万円(前年同期比77.1%増)となりました。

品目別売上高につきましては、形鋼加工機は1,436百万円(前年同期比10.2%増)、丸鋸切断機は20百万円(前年同期比89.5%減)、金型は212百万円(前年同期比3.7%増)、受託事業・その他は129百万円(前年同期比44.8%増)、部品は259百万円(前年同期比5.2%増)、サービスは51百万円(前年同期比23.8%増)となりました。

なお、当社グループの事業は金属加工機械事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は6,770百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加しております。

これは、主に棚卸資産が382百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が247百万円、現金及び預金が165百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は2,333百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円減少しております。

これは、主に支払手形及び買掛金が70百万円増加したこと、短期借入金が100百万円、未払法人税等が65百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,436百万円となり、前連結会計年度末に比べ118百万円増加しております。

これは、利益剰余金が114百万円、その他有価証券評価差額金が3百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月期通期の連結業績予想は、2022年7月14日付「2022年5月期 決算短信」で公表しました業績予想に変更はありません。

なお、2023年5月期第2四半期累計期間の連結業績の結果は、本日公表の「2023年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335,692	1,169,933
受取手形及び売掛金	1,075,910	828,354
製品	1,012,041	1,210,989
仕掛品	421,557	553,382
原材料	418,347	470,462
その他	16,408	42,982
流動資産合計	4,279,958	4,276,104
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	528,367	515,970
土地	967,629	967,629
その他(純額)	468,517	523,572
有形固定資産合計	1,964,514	2,007,171
無形固定資産	107,649	79,681
投資その他の資産		
繰延税金資産	72,580	57,704
その他	317,773	352,560
貸倒引当金	△3,140	△3,140
投資その他の資産合計	387,214	407,124
固定資産合計	2,459,377	2,493,977
資産合計	6,739,336	6,770,082
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	381,714	452,031
短期借入金	400,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	398,688	379,073
未払法人税等	150,108	84,420
賞与引当金	119,514	114,816
役員賞与引当金	21,400	7,000
製品保証引当金	12,280	12,984
株主優待引当金	—	7,230
その他	285,635	238,456
流動負債合計	1,769,341	1,596,011
固定負債		
長期借入金	346,335	355,309
役員退職慰労引当金	74,383	79,422
その他	230,754	302,637
固定負債合計	651,472	737,369
負債合計	2,420,813	2,333,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,874,083	1,874,083
資本剰余金	44,103	44,103
利益剰余金	2,570,095	2,684,901
自己株式	△169,024	△169,024
株主資本合計	4,319,257	4,434,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	2,638
その他の包括利益累計額合計	△734	2,638
純資産合計	4,318,523	4,436,701
負債純資産合計	6,739,336	6,770,082

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年6月1日 至2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2022年11月30日)
売上高	2,083,522	2,110,590
売上原価	1,522,906	1,440,593
売上総利益	560,615	669,996
販売費及び一般管理費	440,927	493,362
営業利益	119,688	176,633
営業外収益		
受取利息	17	6
受取配当金	1,630	1,785
仕入割引	8,258	11,399
保険変更益	—	6,000
その他	20,526	9,951
営業外収益合計	30,432	29,143
営業外費用		
支払利息	6,581	5,967
その他	558	2,396
営業外費用合計	7,139	8,363
経常利益	142,981	197,413
特別利益		
固定資産売却益	—	199
投資有価証券売却益	—	1,870
補助金収入	—	49,333
特別利益合計	—	51,403
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	424	738
特別損失合計	424	745
税金等調整前四半期純利益	142,556	248,071
法人税、住民税及び事業税	63,156	73,860
法人税等調整額	△11,399	13,425
法人税等合計	51,756	87,285
四半期純利益	90,799	160,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,799	160,785

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	90,799	160,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△894	3,373
その他の包括利益合計	△894	3,373
四半期包括利益	89,905	164,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,905	164,158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した注記事項「(重要な会計上の見積り)、繰延税金資産の回収可能性」中の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りの内容について、重要な変更はありません。